

提出日：平成 21年11月20日

栗原市立大岡小学校・自主公開研究会 参加報告書

篠澤 和久（東北大学大学院情報科学研究科 准教授）

調査・場所
確かな学力を育てる授業を目指して [会場 栗原市立大岡小学校]
日程
2009年11月27日（金）
参加者
篠澤和久(准教授), 櫻井みや子(院生), 小野寺香絵(技術補佐員)
目的
ICT活用による授業モデルの構築について先進的な取り組みを行なっている小学校の公開研究会への参加・調査
概要および成果
概要 栗原市立大岡小学校 自主公開研究会 テーマ ICT 機器を取り入れた教室環境と授業デザイン ICT 機器を活用した教科の授業モデルの提案
1. 午前の部 ▽公開授業Ⅰ 2・3年数学および5年社会 ▽公開授業Ⅱ 1年音楽および6年数学 ▽全体会Ⅰ
2. 午後の部 ▽ワークショップ 「授業における ICT 活用の効果」 コーディネーター 稲垣 忠（東北学院大学准教授） ▽講演会並びにパネルディスカッション 「ICT で教師が変わる！授業が変わる！子どもが変わる！」 講師・コーディネーター 中川 一史（放送大学教授） パネラー 稲垣 忠（東北学院大学准教授） 遠藤 麻由美（大岡小学校研究主任） ▽全体会Ⅱ
報告およびコメント

今回の研究会の目的は、文部科学省が提言する「教室の ICT 環境の将来像」2015 年版を大岡小学校内に立ち上げて、その授業モデルを公開・報告し、学内外の参加者間で意見交換を行なうところであったといえる。このような最先端的な授業研究は、文部科学省委託事業である「デジタル授業案を用いた ICT 機器の活用に資する調査研究」の協力校として大岡小学校がこれまで3年間鋭意取り組んできた成果にほかならない。

もとより、「ICT 活用」において機器の導入は「最初の最初」でしかない。大岡小学校による今回の企画とその実現の背景には、宮城県内ではほとんど先例のないものだけに、先生方の幾多の試行錯誤と、それを持続していく熱意があったものと想像される。参加した 100 名を越える現場の先生方にも、4 つの公開授業、ワークショップ、講演会&パネルディスカッション、そして、二つの全体会を通じて、大岡小学校が提案する「大岡モデル」の理念とその実現に向けた「ICT を活用した授業モデル」の姿は十分に伝わったのではないかと思う。

ICT は、講師の中川先生やコーディネーターの稲垣先生も強調されていたように、あくまで「道具」であり「環境」である。言葉を換えれば、それは、目的にたいする手段である。ここでの目的とは、「子どもたちが確かな学力を身につける」ことと言ってよい。この観点からみると、「ICT 活用」における状況としては、「道具的環境」をどのようにして整備するかという資金面も含めた現実的な問題、また、導入時に起こりうる「手段の目的化」という弊害（本来の「目的」の喪失）、そして、同じ目的が実現できるのであれば、手段はひとつとはかぎらない（ICT 活用でなくてもよいのではないか）という「温度差」の発生など、なお対処すべき課題がある。

こうした諸問題を検討しながら、より有効な ICT 活用のあり方を模索していくためにも、大岡小学校の今回の公開研究会は、ひとつの里程碑——（授業モデルの共有化も含めた）全行程からみれば「最初の最初」——になることは間違いない。これまで指導されてきた稲垣先生は、「今後への期待」として3点ほど指摘している。□「説明」するモデルから「使う」モデルの精選 □ICT が日常に根付いたからこそその指導法の追究 □探究活動の道具としての ICT 活用。ここには、「大岡モデル」がこれからさらに進化していくための道筋が的確に描かれている。今後のさらなる討議・研究を期待したい。

なお、管見を添えることが許されるならば、そのさい、ICT は全体としてひとつの「技術的道具」として位置づけられることを再確認する必要があるのかもしれない。技術は、一般に、ある目的を効率的・合理的に遂行・実現するための手段である。つまり技術は、それ以前には時間と労力を要した作業を軽減するためのものである。そして、その軽減分は別途ある目的のために有効活用されるはずのものである。

したがって、「これまでの黒板と電子黒板とのバランスをどうするか」といった教育指導法の論点とは別に、「子どもたちが確かな学力を身につける」うえで、どのような作業が効率化・合理化の対象となりうるのか、他方、その対象としてはならないものは何か——こうした点を議論して取捨選別しながら、ICT 活用のための資産（精選された教材）とノウハウを蓄積しかつ共有化していくことが求められるように思われる。これによって少なくとも、ICT 活用にたいする温度差（この表現は報告者が好む言葉ではないけれども）は多少なりとも低減できるのではないかと期待される。

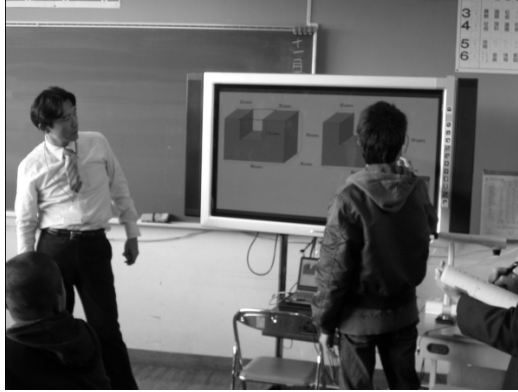


写真 授業風景 1



写真 授業風景 2



写真 ワークショップ風景 1



写真 ワークショップ風景 2